

2023年度
生物多様性アクションプラン
進捗状況及び点検・評価

岐阜市自然環境保全推進委員会

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度－2025年度

第3期アクションプラン
2023－2025

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度－2025年度

多様な生きものと
“あたりまえ”に暮らす
まち

目 次

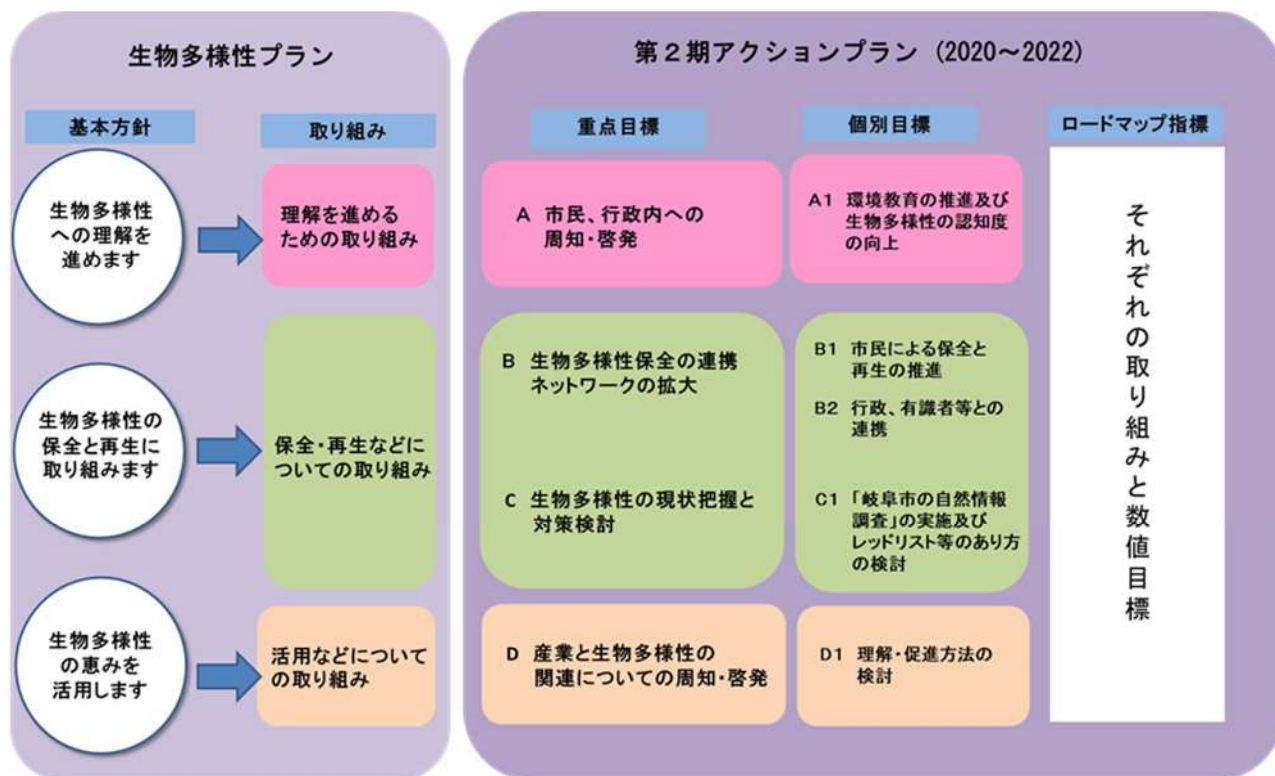
1. アクションプランの目的	1
2. アクションプランの対象期間	1
3. 第3期アクションプランの構成	
(1) 改定の考え方	2
(2) 改定の方針	2
(3) アクションプランの目標	3
(4) アクションプランの構成	3
4. 第3期アクションプランの指標と目標	4
5. アクションプランの管理方法	5
6. アクションプラン総括表	
(1) 個別目標	6
(2) 全体評価	6
7. 個別目標	
(1) 個別目標個票 A1	7
(2) 個別目標個票 B1	8
(3) 個別目標個票 B2	9
(4) 個別目標個票 C1	10
(5) 個別目標個票 D1	11

1. アクションプランの目的

2016 年 3 月に策定した岐阜市生物多様性プラン（以下「生物多様性プラン」という。）では、生物多様性について、本市が、目指すべき将来の姿を「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」とし、3つの基本方針を掲げ、多様な取り組みを推進することとしています。

そして、この「生物多様性プラン」では、この取り組みの進ちょく状況を管理するため、およそ3年ごとの数値目標を設定したアクションプランを作成することとしています。

図1 岐阜市生物多様性プランと第2期アクションプランの施策体系



2. アクションプランの対象期間

アクションプランの対象期間は、3年ごととし、「生物多様性プラン」の計画期間内に3回に亘ってプランを策定します。

表1 アクションプランの期間

西暦年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
和暦年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
生物多様性プラン	策定									目標年度
アクションプラン		第1期アクションプラン			第2期アクションプラン			第3期アクションプラン		目標年度
			完了	策定		完了	策定			

3. 第3期アクションプランの構成

(1) 改定の考え方

第2期アクションプランの進捗結果を踏まえ、達成度が高い取り組みは、拡大又は継続とし、達成度が低い取り組みは、継続又は改善とするなど、アクションプランの見直しを行います。

表2 第2期アクションプランの評価と策定方針の考え方

第2期アクションプランの個別目標	評価（達成度）	改定方針の考え方
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上	順調	拡大
B1 市民による保全と再生の推進	順調	拡大
B2 行政、有識者等との連携	順調	継続
C1 「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等の在り方を検討	順調	拡大
D1 理解・促進方法の検討	順調	継続

表3 第2期アクションプランの進捗状況

指標	目標 (2022年度)	進捗状況の実績		
		2020年度	2021年度	2022年度
A1 環境教育を15回以上実施します	15回以上	15回	26回	38回
A1 生物多様性の認知度の向上を図ります	50%以上	51%	58%	53%
B1 市民との協働による活動を60回以上実施します	60回以上	88回	80回	100回
B2 行政、有識者との連携の機会を60回以上実施します	60回以上	97回	107回	66回
C1 「岐阜市の自然情報調査」を実施します	同自然情報調査の結果取りまとめ	同調査を実施	同調査を完了	結果とりまとめ
C1 レッドリスト等のあり方を検討します	レッドリスト等のあり方を決定 (2021年度までの目標)	同リストのあり方を検討	同リストのあり方を決定	レッドリスト等の選定
D1 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を1回以上実施します	1回以上実施	0回	6回	5回

(2) 改定の方針

生物多様性プランに掲げる3つの基本方針の実現のため、第1期アクションプランでは「土台づくり」を、また、第2期アクションプランでは「つながりの拡充・整備」を主な視点として、取り組みを進めてきました。

今後は、これまで構築してきた、これらのつながりなどを基に、保全活動に協働して取り組んでいく人材の確保や育成が必要であることから、第3期アクションプランでは、主な視点を「担い手づくり」とします。

この「担い手づくり」を推進することにより、市民が主体となって行動し、豊かな自然環境を次世代に繋いでいくことが可能となります。

そして、第3期アクションプランでは、この「担い手づくり」の観点から、重点目標や個別目標、またロードマップ指標を改めることとします。

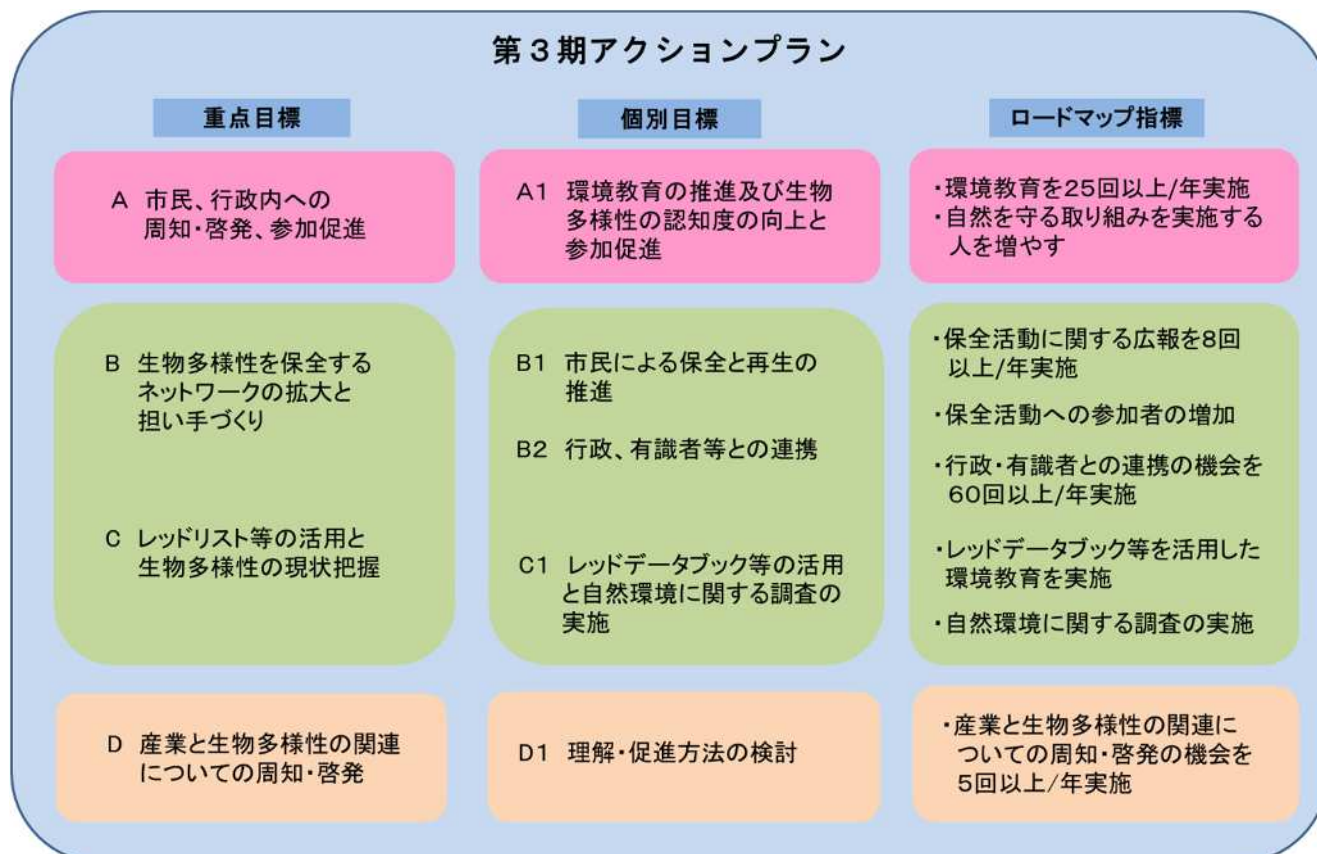
(3) アクションプランの目標



(4) アクションプランの構成

第3期アクションプランでは、4つの重点目標とともに、重点目標を達成するために必要な5つの個別目標、そして、進捗状況を管理するロードマップ指標を設定します。

図2 第3期アクションプラン（2023~2025）の構成



■第3期アクションプランの重点目標の内容

A 市民・行政内への周知・啓発・参加促進

環境保全活動、環境教育、シンポジウムなどを実施し、市民や行政内部における、生物多様性への理解の向上と、保全活動への参加を促進します。

B 生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり

市民・行政・有識者の連携ネットワークを拡大し、保全活動への担い手づくりを行うことで、生物多様性の保全と再生の推進を図ります。

C レッドリスト等の活用と生物多様性の現状把握

2022 年度に改訂したレッドデータブック等を環境学習などに活用するとともに、自然環境を把握するための調査を継続して実施します。

※絶滅の恐れのある野生生物の種のリストを「レッドリスト」、またレッドリストに基づきその形態・分布・生息状況・保対策等を取りまとめて編纂した書物を「レッドデータブック」としています。

D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

生物多様性がもたらす恵みによって、各種の産業が支えられていることを、幅広く周知・啓発します。

4. 第3期アクションプランの指標と目標

指標	目標 (2025 年度)	進捗状況の実績		
		2023 年度	2024 年度	2025 年度
A1 環境教育を 25 回以上実施します (回/年)	25 回以上	38 回		
A1 自然を守る取り組みを実施している人を増やします (%)	増加	32%		
B1 保全活動に関する広報を 8 回以上実施します (回/年)	8 回以上	14 回		
B1 保全活動に参加する人を増やします	増加	652 人		
B2 行政、有識者との連携の機会を 60 回以上実施します (回/年)	60 回以上	66 回		
C1 レッドデータブック等を活用した環境教育を実施します	レッドデータブック等を活用した環境教育を実施	6 回		
C1 自然環境に関する調査を実施します	実施	実施		
D1 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を 5 回以上実施します (回/年)	5 回以上実施	3 回		

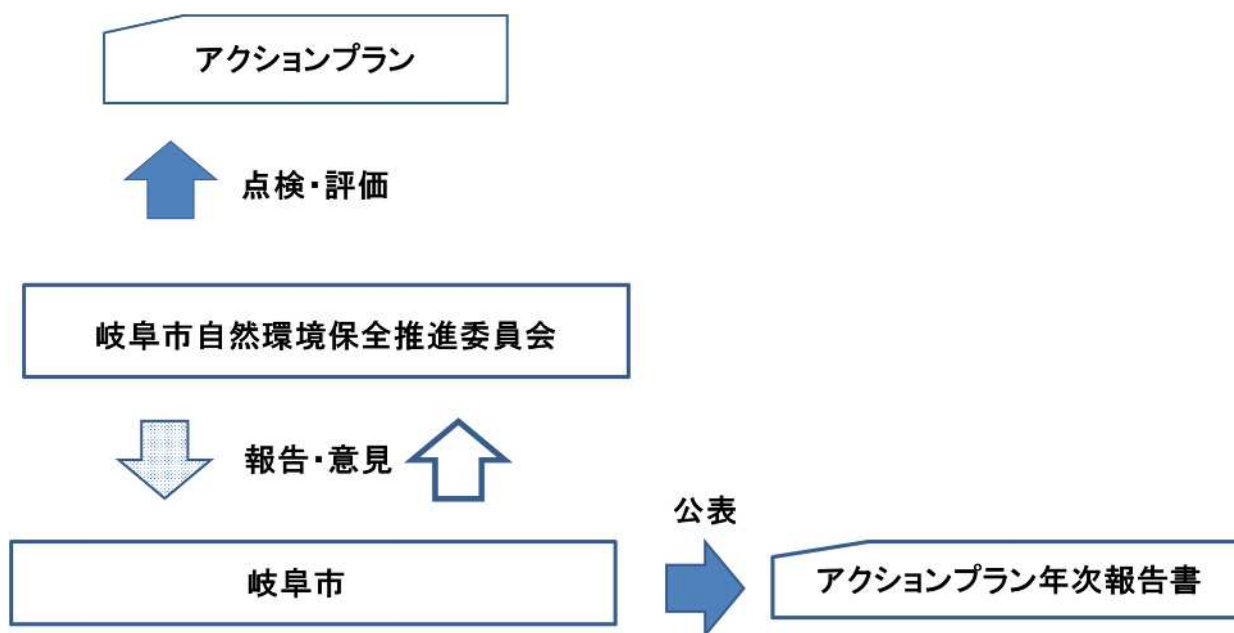
5. アクションプランの管理方法

生物多様性プランでは、毎年、アクションプランの進捗状況を点検し、評価結果を公表することとしています。

点検・評価は、岐阜市自然環境保全推進委員会で行い、本市は、その点検・評価結果を「アクションプラン年次報告書」にて公表します。

また、点検・評価結果を踏まえ、必要に応じてアクションプランの見直しを行います。

図3 アクションプランの管理体制



6. アクションプラン総括表

(1) 個別目標

重点目標と個別目標	個票 ページ	進捗状況		
		2023 年度	2024 年度	2025 年度
A 市民、行政内への周知・啓発、参加促進				
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上と参加促進	7	○		
B 生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり				
B1 市民による保全と再生の推進	8	○		
B2 行政、有識者等との連携	9	◎		
C レッドリスト等の活用と生物多様性の現状把握				
C1 レッドデータブック等の活用と自然環境に関する調査の実施	10	◎		
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発				
D1 理解・促進方法の検討	11	△		

進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×

(2) 全体評価

	意見	進捗状況
2023 年度		
2024 年度		
2025 年度		

※岐阜市自然環境保全推進委員会の意見を記載する

7. 個別目標

(1) 個別目標個票 A1

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取り組み	理解を進めるための取り組み
重点目標 A	市民、行政内への周知・啓発、参加促進
個別目標 A1	環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上と参加促進
取り組み内容(市が主体または協働により行ったもの)	
・生物多様性シンポジウム、こどもエコクラブ、アースレンジャー自然体験塾、出前講座、水辺の生物調査、里山整備等の環境教育関連事業を 38 回実施し、延べ 2141 人参加しました。 ・小中学校を対象とした、自然観察会などの市民団体との協働による環境教育を 23 回実施し、延べ 1573 人参加しました。 ・外来種の啓発活動をしました。 ・市民団体の開催する環境教育活動の周知・支援を 1 回実施しました。 ・庁内・関係行政機関への通知、広報ぎふ、ホームページなどを使用し、レッドデータブックの周知を行いました。 ・レッドデータブックに関するパネル展を開催しました。	

ロードマップ

指標		2023	2024	2025
環境教育を 25 回以上/ 年、実施します※ ¹ 基準値 (2021 年度) 25 回	目標値	25 回以上/年実施	25 回以上/年実施	25 回以上/年実施
	実績値	38 回		
自然を守る取り組みを実施する人を増やします※ ² 基準値 (2022 年度) 37%	目標値	増加	増加	増加
	実績値	32%		

※¹ 環境教育の算出方法：岐阜市役所環境保全課が行う環境教育の合計

※² 自然を守る取り組みを実施する人の算出方法：年 2 回行うぎふメディアコスモス来館者へのアンケート調査

取り組みによる効果

・アースレンジャー自然体験塾に参加したことで、今後自分から自然に触れる体験や、環境保全活動に参加したいとの意識が高まりました。 ・生物多様性保全や持続可能な社会を推進する、次世代を担う若者が育成されました。 ・市民の自然に対する関心や愛着を、より一層深めました。 ・水辺の生物調査を行った学校が、出前講座や、市民団体との協働による環境教育を続けて行い、調べ学習と発表を行うなど、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力が育まれました。

(2) 個別目標個票 B1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取り組み	保全・再生などについての取り組み
重点目標 B	生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり
個別目標 B1	市民による保全と再生の推進
取り組み内容(市が主体または協働により行ったもの)	
・ぎふネイチャーネット等を活用し、保全活動に関する広報の実施を 12 回行いました。 ・保全団体の活動内容紹介や、参加者募集のチラシを 2 回配布しました。 ・自然ふれあい活動支援事業を実施し、環境保全活動を行いました。 ・達目洞の保全活動、大洞や三輪地区の里山の整備など、市民団体と協働した環境保全活動や協議を行いました。 ・カタクリ、ヤマトサンショウウオなどの希少な動植物が生息するエリアの保全活動を行いました。 ・金華山周辺に生息する動植物の保全につながる各種活動を行いました。	

ロードマップ

指標		2023 年度	2024 年度	2025 年度
保全活動に関する広報を 8 回以上/年実施します	目標値	8 回以上/年 実施	8 回以上/年 実施	8 回以上/年 実施
	実績値	14 回		
保全活動に参加する人を 増やします※3 基準値 (2022 年度) 652 人	目標値	—	—	増加
	実績値	652 人		

※3 自然環境保全活動団体の会員数

取り組みによる効果

- ・各種団体が行う保全活動などが周知されました。
- ・地域住民、市民団体、行政との協働による環境保全活動が促進されました。
- ・環境保全活動を通じ、市民との連携が促進されました。

(3) 個別目標個票 B2

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組めます
取り組み	保全・再生などについての取り組み
重点目標 B	生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり
個別目標 B2	行政、有識者等との連携
取り組み内容(市が主体または協働により行ったもの)	
・行政と有識者等が生物多様性保全に係る協議、情報提供などを 45 回行い、協力関係の構築等を図りました。 ・伊自良川や石田川など、国や県の実施する環境影響調査事業等への参加・協力を 10 回行いました。 ・金華山保存活用推進会議や、各種協議会への参加を 11 回行いました。 ・条例指定種のモニタリング調査を行いました。	

ロードマップ

指標		2023 年度	2024 年度	2025 年度
行政、有識者との連携の機会を 60 回以上/年実施します	目標値	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施
	実績値	66 回		

取り組みによる効果

・地域住民、市民団体、行政との協働による環境保全活動が促進されました。 ・環境に配慮した、工事計画や改修計画に寄与しました。 ・生物多様性保全に係る行政、有識者の連携を促進しました。

(4) 個別目標個票 C1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取り組み	保全・再生などについての取り組み
重点目標 C	レッドリスト等の活用と生物多様性の現状把握
個別目標 C1	レッドデータブック等の活用と自然環境に関する調査の実施
取り組み内容（市が主体で行ったもの）	
・レッドデータブック等を活用した環境教育を、幼稚園、小学校、大学生に 6 回実施し、延べ 404 人参加しました。 ・庁内・関係行政機関への通知や、広報ぎふ、ホームページなどを使用し、レッドデータブックの周知を行いました。 ・レッドデータブックに関するパネル展を開催しました。 ・岐阜市の自然情報継続調査を実施しました。 ・条例指定種の保全を行いました。 ・外来生物（セアカゴケグモ・ヒアリ等）対応を行いました。	

ロードマップ

指標		2023 年度	2024 年度	2025 年度
レッドデータブック等を活用した環境教育を実施します	目標値	レッドデータブック等を活用した環境教育を検討	レッドデータブック等を活用した環境教育を実施	レッドデータブック等を活用した環境教育を実施
	実績値	レッドデータブック等を活用した環境教育を 6 回実施		
自然環境に関する調査を実施します	目標値	実施	実施	実施
	実績値	実施		

取り組みによる効果

・岐阜市内に生育・生息する動植物への愛着が高まりました。 ・レッドデータブックへの関心が高まりました。 ・自然情報継続調査により、岐阜市内に生息・生育する動植物が把握されるとともに、環境の変化が考察されました。

(5) 個別目標個票 D1

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取り組み	活用などについての取り組み
重点目標 D	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発
個別目標 D1	理解・促進方法の検討
取り組み内容（市が主体で行ったもの）	
・アースレンジャー自然体験塾や環境教育の中で、産業と生物多様性に関する講座を 3 回実施しました。	

ロードマップ

指標		2023 年度	2024 年度	2025 年度
産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を 5 回以上/年実施します	目標値	5 回以上/年 実施	5 回以上/年 実施	5 回以上/年 実施
	実績値	3 回		

取り組みによる効果

・アースレンジャー自然体験塾や環境教育を実施する事により、大学生や、小・中学生とその保護者が、生物多様性やその恩恵を感じることができました。
--